平成２７年度第２回千葉市若葉区公民館運営審議会議事録

１　日　時　平成２８年３月１６日（水）１４時００分～１５時０５分

２　場　所　千城台公民館　セミナー室

３　出席者　（委員）

内山委員長、大澤副委員長、髙橋委員、野本委員、但田委員、猪野委員、
深山委員、成田委員、江﨑委員、横田委員、森谷委員、近藤委員

（事務局）

髙石館長（千城台公民館）、小出館長（更科公民館）、菊池館長（白井公民館）
深山館長（加曽利公民館）、押尾館長（大宮公民館）、中村館長（みつわ台公民館）
深浦館長（若松公民館）、鈴木館長（桜木公民館）、山老副館長（千城台公民館）

４　議　題

（１）平成２８年度若葉区公民館の事業計画案について

（２）その他

５　議事の概要

（１）平成２８年度若葉区公民館の事業計画案について

各公民館長より平成２８年度の若葉区公民館の事業計画案を説明し、承認された。

（２）その他

特になし

６　会議経過

（１）議題１　平成２８年度若葉区公民館の事業計画案について

（近藤委員）資料１０ページ、１１番の大宮公民館の大人の朗読会について、詳しく教えていただきたいと思います。

（押尾館長）大人の朗読会は、当公民館でやっている朗読グループがありまして、その方々が幅広く声をかけたり、公民館だよりで呼びかけて、多くの方に参加いただいています。日頃やっている昔話やラジオドラマのようなものを、複数の人たちとジョイントしながら読み聞かせていくというような発表会をやっています。

また、このグループは、大宮小学校などで児童・生徒にも、読み聞かせを行っていることから、子どもたちにとって聞き方、発信する側にとっては聞かせ方というようなものも含め、活動でのエピソードを講座の中で交えながら、この講座は進められています。

（近藤委員）朗読サークルの方の発表の場でもあるということですか。

（押尾館長）でもあります。このグループの皆さんの話を聞きますと、初めて聴く人に、朗読の楽しさをぜひ体験していただきたい、それともう１点は、今、テレビの時代になってしまっていて、耳から聞いて頭の中でいろいろな組み立てを、１人ひとりが聞く側のイメージで作るドラマの主人公がどうのこうのという構成は、個人個人ができるものなので、読み聞かせを通して、より深めていっていただ

きたい。また、体験を通して、読み聞かせのありがたさや必要性も勧めていきたいということでやっているものです。

（但田委員）みつわ台公民館にお訊きしたいのですが、子どもが大好きな料理教室がたくさん計画されていますが、指導者は、それぞれ違う方がやっているのですか。

（中村館長）いずれも地域の方ですが、食生活改善協議会の会員の方が主にやっていただいています。通常ですと、７～８人くらいの方が参加していただきまして、ほぼ子どもにマンツーマンで付くくらいの形でやっていただいています。

（但田委員）大勢いてうらやましいです。段々と高齢化してきて、なかなか指導者をお願いするのが非常に難しくなってきているので。

（中村館長）指導も、お皿を洗ったり、片づけまで行っていて、食材の管理だとか生ごみの処理のし方も丁寧に教えてくれます。きれいになるまでが料理教室だということまで教えていただいています。

（但田委員）ほとんどが、食生活改善協議会の方がやってくださっているのですか。

（中村館長）そうです。

（森谷委員）白井公民館は、先日拝見して、ロビーも広くて素敵だと思いましたが、トールペイント教室はどのようなものでしょうか。

（菊池館長）特殊な絵具で、自分の持ってきた物に絵付けをしています。

（猪野委員）そば打ち教室は、いろいろな公民館で取り組んでいて、人気があるというお話しですが、ただ用意された材料をその場で捏ねてそばを作るということに限られているのか、それとも、そばを栽培して収穫もやっているというところがあったらお聞かせいただきたい。

（内山委員長）種から蒔いて収穫までやっているところはありますか。

（髙石館長）公民館自体が畑を持っているわけではないので、収穫からというのはなかなか難しいと思います。そば粉を先生にお持ちいただいて、そこからスタートという形がほとんどではないかと思います。

（内山委員長）市のホームページでも千葉氏のことが結構出ていて、ポスターも貼られていますが、千城台、大宮、加曽利、みつわ台の４館が千葉氏の事業を計画しているようですが、内容的には講師が全部別なのでしょうか。

（髙石館長）開府８９０年という年を踏まえまして、昨年くらいから、千葉氏について研究している方が講師をできるということで、生涯学習振興課から公民館に紹介がありました。８館の館長が集まる館長会議で、その研究をされている元郷土博物館の館長で千葉大でも千葉氏の講義をやっている方ですが、その方から公民館で展開できる講義についての説明を受けまして、その中で、各館が主催事業に取り込もうという動きで、今回、４館がやるわけですが、千葉市全域としても、そういう動きが若葉区以外でもあるやに聞いていますので、開府８９０のこの年に向けて、気運を高めようというような取組になっています。

（横田委員）事業のことではないのですが、みつわ台も高齢化の時代に入りました。和室での学習は膝が痛かったりして、座位がしんどいという声を聞くようになりました。そこで、お借りする部屋のことでお伺いしたいのですが、みつわ台公民館は、洋室の会議室が１部屋と和室が２部屋あります。１つはお茶室に使えるお座敷で、もう１つは当初宿直の方のご家族が住んでいた部屋をそのまま第２会議室として使用しています。この和室に机と椅子を入れて、会議室として使用するための変更手続きは可能でしょうか。畳の床には、地域で不要になったカーペットなどを探し、経費のかからない範囲でのことですが。身近な地域の公民館が、ハンディを持ってもギリギリまで楽しい集いの場所であり続けるために、ご検討いただけたらと思います。

（髙石館長）和室の様式で活動したいという団体もありますし、やはり畳の養生ということで、めくれて粉立つというか、そういうことが起こるので。寿命の問題もありますし、もともと現状の畳もかなり老朽化しているというところもあるのですが、少ない予算の中でなるべく長く使っていただきたいということで、負荷がないような活用方法を今までは展開しているところです。

（横田委員）ある年齢から下の若い方たちは、公民館のクラブになかなか参加できない時代が来て、子育てが済めば仕事に就く方がとても多い状況です。また、加齢により好きな学びが続けられなくなるというのは、とてもお気の毒に思いましたので、申しあげました。

（髙石館長）ご意見ということで、今後の検討課題ということで承りたいと思います。

（内山委員長）今の問題は、館長さんだけで決められる問題ではないので、館長会議等あると思いますので、地域でこういう話があったということで、上にあげていただければと思います。

（髙石館長）各館の状況がそれぞれ違うというところもありますので、そのへんも踏まえなければならないと思います。

（深山委員）今の件で賛成意見ですが、私もイスでないと会議などにも参加できないということで、とても不便だと思っているんですが、せっかくの会議とかクラブとかに集まってくるのに、そのために利用できないというのは問題外という気がする。料理屋など、昔の老舗でもほとんどが和室でしたが、行って見ると、テーブルやイスになっているところもあります。畳だからどうしても座ってというのではなく、むしろ利用すること自体が本来なので、カーペットとかゴザとかを敷いて、直接傷まないようにするならば、問題ないとは思います。

（江﨑委員）加曽利公民館のセカンドライフ講座で、相続問題・生活設計を学んで安心のセカンドライフという講座がありますが、これは大変時宜を得た講座だと思います。これまで高齢化・高齢化と言っているんですが、超高齢化社会に入っていて、それが相続問題になってくる。今、銀行等もいろいろと講座等開いていますが、なかなかそういうところに足を運べないし、公民館でやっていた

だくと、今一番ニーズがあるのではないかと思います。今までも、防災とか要望されるものがあったんですが、この相続問題の講座は、専門家の方を呼んでやられるのでしょうか。

（深山館長）まだ詳細まで詰めていない段階ですが、講師としては、千葉県金融広報委員会にお願いすることを予定しています。私も父を少し前に亡くしまして、亡くなると、その後の処理がいろいろと出てきて、結構後になって子どもたちがあたふたしたということがあり、私も６０歳を過ぎたらそういうことを考えないといけない時期ではないかなということもあって、今回この講座を計画させていただきました。

（内山委員長）いろいろとご意見をいただきました。各公民館とも、館長さんをはじめ職員の方々に、この事業がスムーズに行われるよう尽力していただくようお願いをしまして、質疑を終わらせていただきます。

（２）議題２　その他

質疑応答なし

（問い合わせ先）千葉市教育委員会生涯学習部
千城台公民館
電話：２３７－１４００